

大腸癌に対する FOLFIRI + Cetuximab療法

(レボホリナート+イリノテカン+フルオロウラシル+アービタックス) RPHW_DRPHW_1

2011年11月09日 承認
2024年08月30日 改訂

Dr.sign

Ns.sign

Ph.sign

病棟・科名	登録番号 《《SYPID》》	氏名 《《ORIBP_KANJI》》	年齢 様《《SYAGE》》	身長 cm	体重 kg	体表面積 m ²
疾患名	施行予定日 月 日 ~ ()		実施サイクル コース目	【調製指示】 <input type="checkbox"/> 調製可 <input type="checkbox"/> TEL連絡後調製		
備考[標準投与量逸脱など]				放射線併用 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		

Day1 (/)

Day2 (/) ~ Day3 (/)

本管(中心静脈ポート)

ルート確保後、主管は止めること

生理食塩水 100mL

側管

開始時 (30min)
グラニセトロン1mg/生食50mL
アロカリス 1V
ポラミン5mg 1A
デキサート3.3mg 1A
(リン酸エステル換算 4mg)

専用ルート (初回2hr) (以後1hr)
生理食塩水
アービタックス
初回 mg
以後 mg

(1hr) 生理食塩水 250mL

同時投与 (2hr)
5%ブドウ糖 250mL
レボホリナート mg

(2hr) 5%ブドウ糖 250mL
イリノテカン mg

(全開でdiv) (2分程度で) 生理食塩水 20mL※
フルオロウラシル mg

(全開でdiv) 生理食塩水 50mL

ポンプ時 (46hr)
生理食塩水 140 mL
フルオロウラシル mg
★全量140mLに調製
(インフューザーポンプを使用)

終了後に自己抜針 (初回は本人及び家族に指導し、自己抜針してもらう)

《治療翌日朝より2日間服用》

デカドロン錠 1回 4錠を
1日2回(朝昼食後) 服用

Day8 (/)

本管

生理食塩水 500mL

側管

(15min) 生理食塩水 50mL
ポラミン5mg 1A
デキサート6.6mg 1V
(リン酸エステル換算 8mg)

専用ルート (1hr) 生理食塩水 150mL
アービタックス mg

(1hr) 生理食塩水 250mL

側管終了後、抜去可

全量 mL
初回 以後

全量 mL

※50mLの容器から30mLを破棄

FOLFIRI + Cetuximab療法

標準投与量:

Cetuximab	250 mg/m ²	day1,8
(初回のみ400mg/m ²)		
I-LV	200 mg/m ²	day1
CPT-11	150 mg/m ²	day1
5-FU	400 mg/m ²	(bolus)
5-FU	2,400 mg/m ²	(46hr持続)

2週毎